



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年12月14日

上場会社名 サンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4592 URL www.sanbio.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 敬太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 角谷 芳広 TEL 03 (6264) 3481
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績（平成27年2月1日～平成27年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	1,099	△64.8	△566	—	△608	—	△470	—
27年1月期第3四半期	3,120	—	2,411	—	2,403	—	1,913	—

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 △463百万円 (—%) 27年1月期第3四半期 1,930百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	△10.88	—
27年1月期第3四半期	49.03	—

(注) 当社株式は、平成27年4月8日に東証マザーズ市場に上場しております。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第3四半期	8,782	6,876	78.3	154.26
27年1月期	1,755	△87	△5.0	△2.22

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 6,875百万円 27年1月期 △87百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年1月期の連結業績予想（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,835	△43.2	△855	—	△838	—	△744	—	△17.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期3Q	44,570,491株	27年1月期	39,620,484株
② 期末自己株式数	28年1月期3Q	16株	27年1月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期3Q	43,264,984株	27年1月期3Q	39,038,355株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年2月1日～平成27年10月31日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善に支えられ個人消費の緩やかな増加により堅調に推移しております。米国経済も同様に底堅い家計支出にけん引され底堅く推移しました。

再生医療業界においては、平成26年に施行された再生医療安全性確保法及び改正薬事法によって再生医療の産業促進化が進むなか、平成27年4月には基礎から実用化までの一貫した研究開発の推進を後押しする日本医療開発機構が設立され、日本発の医薬品や医療機器の創出を支援する環境の整備が進展しております。その結果、平成27年9月には初めて再生医薬品に対して条件・期限付き販売承認が下りるなど、再生医療等製品の産業化が現実となりつつあります。

このような環境のなか、当社グループ(以下、当社及び連結子会社SanBio, Inc.(米国カリフォルニア州マウンテンビュー市)の2社を指します。)は、わが国における再生医療業界への政府主導による追い風を資金調達面においても活かすべく、平成27年4月8日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。

現在、米国においては、被験者150人規模の慢性期脳梗塞細胞医薬品「SB623」の第Ⅱb相臨床試験の開始に向けて準備を進めております。また、「SB623」の慢性期外傷性脳損傷プログラムについては、平成27年10月に第Ⅱ相臨床試験の被験者の募集を開始いたしました。

日本においては、「SB623」の慢性期外傷性脳損傷プログラムの製造販売承認の実現性について調査を進めてまいりましたが、平成27年7月に、「SB623」の慢性期外傷性脳損傷プログラムの開発に本格着手することを決定し、現在臨床試験を開始するため当局と協議を進めております。

知的財産権については、平成27年3月3日に当社グループの再生細胞薬SB623に関する物質特許(注)が米国において承認されました。本特許を含め、当第3四半期連結累計期間中に計2件の特許を取得いたしました。当社は、独自の細胞薬「SB623」及びその後続開発品について、物質特許のみならず、製造・用途に係る特許も取得済みであり、競争力の源泉となる知的財産権確保に努めております。

このような状況のなか、北米において大日本住友製薬株式会社と締結している「SB623」の共同開発及びライセンス契約によるマイルストーン収入5百万米ドル及び開発協力金収入等により、当第3四半期連結累計期間の事業収益は1,099百万円(前年同四半期比64.8%減)となりました。営業損失は566百万円(前年同四半期は営業利益2,411百万円)となりました。営業外収益としては、為替差益20百万円を計上する一方、新規上場に伴う株式交付費32百万円及び上場関連費用18百万円、支払利息13百万円を計上したことにより、経常損失は608百万円(前年同四半期は経常利益2,403百万円)、四半期純損失は470百万円(前年同四半期は四半期純利益1,913百万円)となりました。

なお、当社グループは他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績記載を省略しております。

(注) 医薬品の特許には「物質特許」「製法特許」「製剤特許」「用途特許」の4つがあります。物質特許とは物質そのものを保護する特許で、医薬品の特許のなかで最も重要で権利範囲の広い特許として取得に大きな費用と時間が必要になります。物質特許を取得できれば、開発した医薬品を独占的に製造・販売することができます。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、8,714百万円(前連結会計年度末は1,258百万円)となり、前連結会計年度末に比べて7,456百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が7,018百万円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、68百万円(前連結会計年度末は497百万円)となり、前連結会計年度末に比べて428百万円減少いたしました。これは、投資その他の資産が467百万円減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、575百万円(前連結会計年度末は380百万円)となり、前連結会計年度末に比べて194百万円増加いたしました。これは、未払金が182百万円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、1,331百万円(前連結会計年度末残高は1,461百万円)となり、前連結会計年度末に比べて130百万円減少いたしました。これは、繰延税金負債が130百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,876百万円(前連結会計年度末は△87百万円)となりました。これにより、自己資本比率は△5.0%から78.3%に改善いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年9月14日の「平成28年1月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,228,551	8,247,160
その他	29,464	466,945
流動資産合計	1,258,016	8,714,106
固定資産		
有形固定資産	18,279	56,977
投資その他の資産	478,761	11,691
固定資産合計	497,041	68,668
資産合計	1,755,057	8,782,774
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
賞与引当金	10,253	20,976
その他	270,252	454,217
流動負債合計	380,506	575,193
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,100,000
その他	361,845	231,221
固定負債合計	1,461,845	1,331,221
負債合計	1,842,351	1,906,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,573	3,803,338
資本剰余金	3,801,016	7,514,780
利益剰余金	△3,990,534	△4,461,337
自己株式	—	△28
株主資本合計	△99,944	6,856,753
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,830	18,887
その他の包括利益累計額合計	11,830	18,887
新株予約権	819	718
純資産合計	△87,294	6,876,359
負債純資産合計	1,755,057	8,782,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
事業収益	3,120,093	1,099,484
事業費用		
研究開発費	460,194	1,227,894
その他の販売費及び一般管理費	247,919	437,948
事業費用合計	708,114	1,665,843
営業利益又は営業損失(△)	2,411,979	△566,358
営業外収益		
受取利息	79	948
為替差益	—	20,839
その他	9	64
営業外収益合計	88	21,852
営業外費用		
支払利息	1,742	13,549
為替差損	6,342	—
株式交付費	744	32,446
上場関連費用	—	18,356
営業外費用合計	8,828	64,351
経常利益又は経常損失(△)	2,403,239	△608,857
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,403,239	△608,858
法人税、住民税及び事業税	217	883
法人税等調整額	489,084	△138,939
法人税等合計	489,302	△138,055
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,913,936	△470,802
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,913,936	△470,802

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,913,936	△470,802
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	16,734	7,057
その他の包括利益合計	16,734	7,057
四半期包括利益	1,930,670	△463,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,930,670	△463,745
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年4月7日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行4,000,000株(発行価格2,000円、引受価額1,840円、資本組入額920円)により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,680,000千円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間においてストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ33,764千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,803,338千円、資本剰余金が7,514,780千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。